

ふれあい

2023

1

No.430

牛久愛和総合病院 広報誌



新年のご挨拶

院長 瀬下 明良



新年おめでとございます。年末年始、ゆっくり休まれたでしょうか。他の長期休みと異なり、1年を振り返った先のことを考える時期でもあり、新たな気持ちで新年を迎えている方も多いのではないのでしょうか。3年に及ぶコロナ禍、働き方改革、ウクライナ関連から端を発する社会経済問題等も、自分の生活を見直すきっかけになっている気がします。また毎年のことですが、今年こそは……と思う気持ちもあります。多くのスタッフの新たな気持ちが始まり、病院も新たに前向きな雰囲気が出てくると思います。昨年この欄では、医療の「安全」だけでなく「安心」にも配慮したいと書きました。が、どうだったでしょうか。余

裕を持ちたいと考えています。普段の我身を振り返っても、なかなか余裕は有りませんが、「寄り添う」ことが医療では重要ですので、あらためて新年の抱負として考えています。そのためには理解も必要でしょう。例えば身近な問題であるコロナ禍もインフルエンザと変わらないと言われていますが、医療関係ではそうもいかず、世間とギャップを感じることもあります。十分な情報を交換し相手への理解が進めば、お互いに「寄り添う」気持ちも出てくると思います。実地の医療面では、昨年もコロナ禍は6波、7波、8波と繰り返し、当院も発熱外来、コロナ病棟で対応し、その度に強固なチーム医療ができてきました。残念ながら、各部署の協力で何とか少ない拡がりで乗り越えてきました。今年度の感染状況がどうなるか不明ですが、5回目のワクチン接種もスタッフはほぼ終了し、昨年までの経験も活か

し対応していこうと考えています。一般診療では、リウマチ、膠原病内科、呼吸器内科、小児アレルギーの専門医師が常勤となり、外来・入院治療を幅広く行えるようになりました。また眼科、救急医療科、腎臓内科の医師が増員され、手術、救急車の受入れ等が大幅に増えました。本年度も初期研修医が4月より5人入職し、まだ1年経ちませんが、指導医のもと順調に育っていますので、よろしく願います。

「救急医療」、「予防医療」、「高齢者医療」を3つの柱として地域医療に貢献することが当院の理念です。いずれも簡単ではありませんが、本年も地道に取り組んでいきますので、よろしくお願い申し上げます。





「口腔ケア」は健康増進に繋がります。

歯科口腔外科 部長 河地 誉



「口腔ケア」は、口の中を清潔にするだけでなく、歯や口の疾病の予防、健康保持・増進、リハビリテーション等により、口腔の観点から生活の質(QOL: Quality of life)を上げることを目的としています。

口腔の環境は、内科疾患(糖尿病、骨粗鬆症、誤嚥性肺炎、虚血性心疾患など)、老化や認知症など、全身の健康状態と関係することが知られています。そのため、口腔ケアを行います。そのために、口腔ケアを行うことにより、患者さんのQOLの向上や早期回復に繋がると報告されています。

病院内で行う口腔ケアには、主に入院している患者さんが自身で行う日常的な口腔清掃を基本として、齶蝕や歯周病に対する治療など、多くの歯科治療(抜歯、摂食・嚥下機能の回復など)が含まれます。担当するのは、主に歯科医師、歯科衛生士で

すが、医師、看護師、介護士、薬剤師が各々の専門的な立場から参加しています。当院では、患者さん・御家族を中心とした質の高い医療を実現するため、口腔が関係する場面においても多種多様な医療スタッフが連携し協力しています。口腔ケアは、当院の掲げる医療の3本柱(救急医療、予防医療、高齢者医療)の中で、主に後者2者の役割を担っています。

口腔は、咀嚼、摂食、嚥下、顔貌の形成、味覚、構音、発音など、人が健康的な生活を営む上で基本的な機能を持っています。口腔環境を良い状態にすることは、全身の健康増進に繋がると考えられるため、良い状態を長く維持することが求められます。患者さんが口腔に関する知識を理解し、生活習慣として根付かせるためには、「歯科保健指導」

が大切です。そこで活躍するのが、「歯科衛生士」です。歯科衛生士は、①歯科予防処置、②歯科診療補助、③歯科保健指導を3大業務として、歯科診療を円滑に行うサポートをしながら、口腔の健康増進において重要な役割を担っています。病院では、患者さんは何らかの全身的な疾患を抱え治療中の場合が殆どです。そのため、口腔内だけでなく全身的な知識を持つことが求められ、それぞれの疾患や行っている治療、それらに起因する口腔内状況の変化に配慮しなければなりません。また、円滑な医療連携のため、多職種間の業務内容を理解し協働する必要があり、多様な知識と技術が求められます。当院には日本口腔ケア学会認定の有資格者を含む4名の歯科衛生士が在籍しており、口腔の専門的な知識を活用し「口腔にお

けるチーム医療」を先導しています。



入 職 者

12月1日付

■総務部

事務 葉 梨 広

航空業界に約22年間勤めておりました。茨城の美味しいお店を開拓するのが楽しみです。

■眼科

視能訓練士 小田桐 淳平

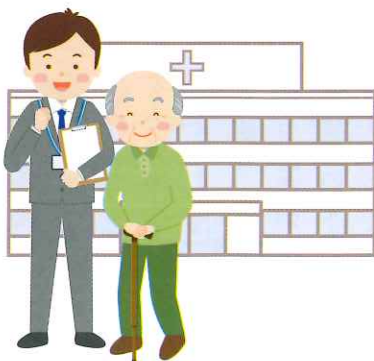
視能訓練士の小田桐淳平です。総合病院の勤務は初めてですが、精一杯頑張ります。

■春秋園

■ケアサービス部

支援相談員 福江 真太郎

老健での経験はありませんが、今までの経験を活かして、皆様のお役に立てるよう努めていきます。



春秋園だより



施設長 高橋 元

令和五年 年賀

あけましておめでとう御座います。皆様と共に新しい年を迎えることができ、大変喜ばしく思います。

約三年前、国内初の感染者が確認されて以降、COVID-19のすさまじい嵐が各地で起きています。そして昨年十一月、我々の春秋園にも...利用者の方々、ご家族、職員、一丸となって嵐に対抗。おかげで、穏やかな日常へ戻すことができ、感謝しております。

昨年末のサッカーワールドカップ開催国ではマスク姿はほぼ見られませんでした。わが国ではまだマスクをするのが当たり前。人と人との距離もソーシャルディスタンスを保ち、食事は黙食で、が良

さそうです。

この三年間、社会の動き方にも変化が。リモートワーク、イベントのライブ配信、オンライン飲み会も。

が、春秋園では、お世話するときは直接タッチ、聞こえにくい方には耳のそばで話します。オンライン食事会というわけにはいかず、自分で食べられない方には、口元まで介助を、レクリエーションも画面でなく、目の前で一緒に行う事となるのは当たり前。すなわち、密なコミュニケーションが行われている訳です。

世界激変のこの三年間、私たちにとって、毎日の生活に、おす期間でもあったようです。

本年も、春秋園では感染症への対策を継続しながら、利用者の方々、そのご家族、お世話させていただく職員一同、豊かなコミュニケーションで毎日を大切に過ごさせて頂きたいと思っております。皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

部署紹介

看護部(外来)

副師長 飯田 寛美

こんにちは。今回は「病院の顔」と言われる、看護部「外来」の部署紹介です。

牛久愛和総合病院には、25科の一般外来と、16の専門外来があり、毎日約700名の患者さんが来院されます。

近年は在院日数が短縮され、治療の場は入院よりも、外来へ移行しています。そのため、病気を抱えながら自宅や療養施設で過ごす方が増えており、外来には、医療的処置を必要とする患者さんや、専門的な支援を必要とする患者さんが多くいらっしゃいます。そのような患者さんの、さまざまな事情を理解し、医療者のいない自宅で安心して過ごせるようお手伝いさせていただきます。そのためには、私たち看護師だけでなく医師や他のメディカルスタッフと共に協力して業務を行っていきます。

また、昨年より外来の新たな機能として、「ドクターカー」が誕生しました。これは、地域医療への貢献という理念に基づくもので、救急車が駆けつけた現場に、



当院の医師と看護師も出向くことで、病院の到着を待たずに、患者さんに医療行為を施せるという利点があります。病気は、時間や場所を選ばずに行ってきます。いつでも患者さんを迎え入れられるよう、スタッフ一丸となって万全の体制を整えていきます。

Dr 趣味リレー

総合診療科 田内 榮子

趣味となると、自分の周囲のスタッフさん、患者さん、多彩かつ極めてる方も多い印象です。

「知ってる?○○さんはとても◎◎に詳しくて」私はい他の人の自慢をしてみます。

自分に関して考えてみました。どうやら「趣味の話聞く事」が趣味なようです。

周囲では、ゲーデニング、釣り、ゴルフ、筋トレ、推し活などが人気なようですが、パルクールなど、自分では絶対にできない趣味の方もいました。費用の嵩む趣味でも、話を聞く分にはお財布に優しいです。

自分は基本的にオフの時は楽しく、だからでリフレッシュして、仕事の時は集中して、楽しくできたらいいなと思います。あまり競い合うのは性に合わないのだと思います。

時々、患者さんの趣味の話聞いたところ、ゲーデニングや釣りで手首や指の関節を痛めたり(リウマチの悪化や腱鞘炎など)、その内容が、診断や治療に役立つこともあります。

さて、あなたの趣味はなんでしょうか(笑)

《出来事ピックアップ》

クリスマス会

12/11

12月11日(日)病院大ホールにてクリスマス会を行いました。3年ぶりに、全クラスの園児、両親揃って行うことができました。年長児、学童によるキャンドルサービスでクリスマス会は始まりです。一つ一つの火は小さいけれどもみんなの火が集まれば大きな光となる事を感じる事が出来ました。

劇「大きなかぶ」では、子ども達はかぶを無事に抜くことが出来ました!!



次は、お待ちかねのサンタさん登場です。サンタさんを見た子ども達の目はキラキラとしていました。自分の質問にサンタさんが答えてくれると笑顔でいっぱいでした。それを見ている保護者の方も笑顔に溢れ、サンタさんの力は凄いなと改めて感じました。皆様ご協力ありがとうございました。(保育課 主任 福田)

編集だより

新たな年がスタートしました。一年の節目となるこの時期に目標を立て、チャレンジしてみたいかがでしょうか。実りある年にするためにも、まずは感染対策と体調管理に注意をして心身のバランス維持に心がけましょう。(Y・A)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内 科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮 膚 科 (レーザー外来)
外 科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ http://www.jojinkai.com

《関連施設》

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
- 健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
- 人工透析センター
- 地域リハ・ステーション
- 介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
- ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
- 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

